

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

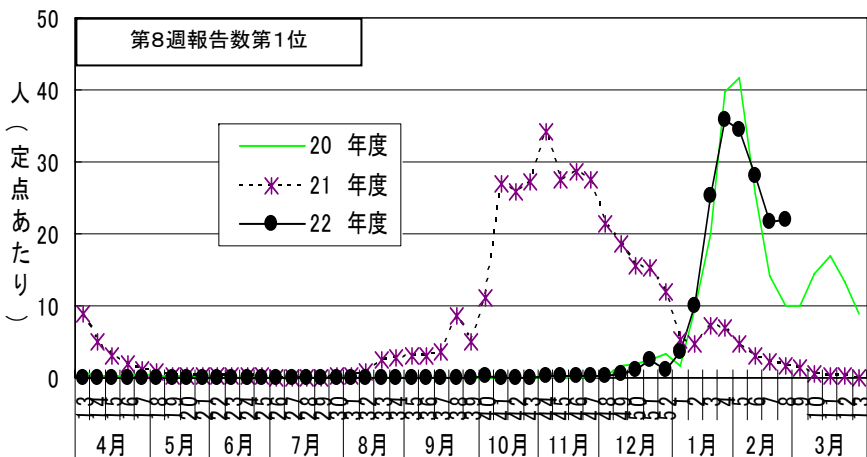


KAWASAKI CITY

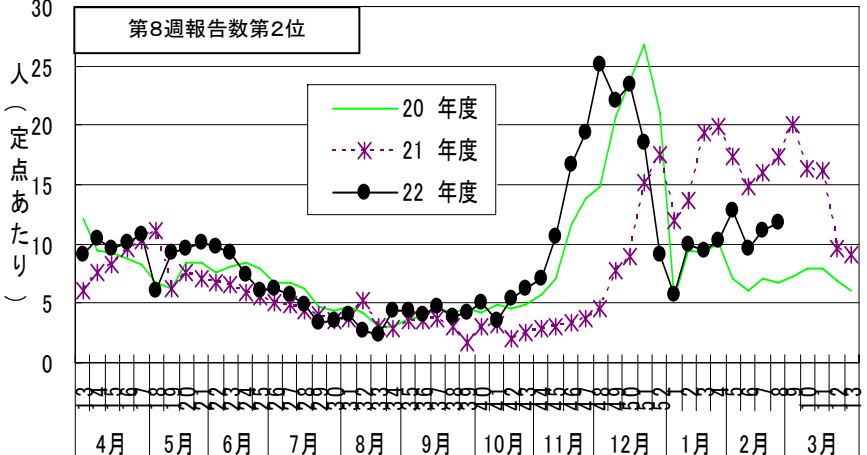
平成23年2月21日（月）～2月26日（日）〔第8週〕の感染症発生状況

第8週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザは定点あたり21.89人と前週（21.78）より患者報告数はわずかに増加しております。過去12年間の同時期と比較すると、今シーズンは2004/2005シーズンに次ぐ2番目に報告の多いシーズンとなっておりますので、インフルエンザが終息するまでは、引き続き予防対策などを徹底するなど注意が必要です。
 感染性胃腸炎は定点あたり11.88人と前週（11.12）より患者報告数はやや増加しております。過去5年平均の傾向をみると、今後3月にかけて患者数が増加する傾向にありますので注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



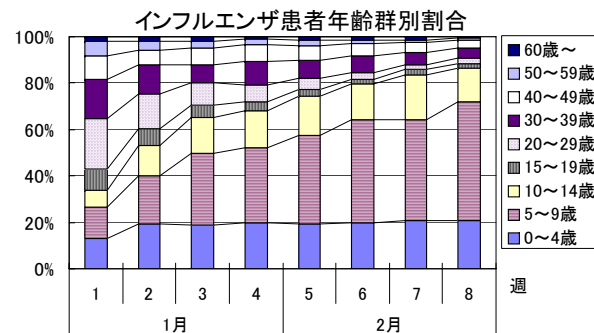
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



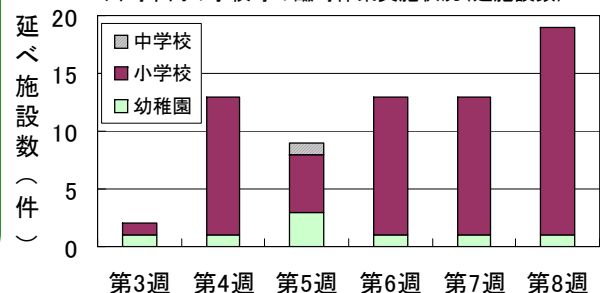
インフルエンザの患者報告数が増加しました！！

川崎市内におけるインフルエンザ患者報告数は第4週にピークとなり、その後減少傾向にありましたが、第8週においてその報告数がわずかに増加しました。

また、患者年齢群別割合をみると、小児（特に5～9歳）の割合が増加しております。（右上グラフ参照）



川崎市内の学校等の臨時休業実施状況(延施設数)



第8週は、集団生活の機会の多い小児を中心に患者が増加し、そのことが臨時休業実施件数の増加につながっていると推測されます。
 第8週の臨時休業施設件数は延べ19施設（多くが小学校）で、今シーズンで最も多くなっております。（右下グラフ参照）
 一人ひとりが予防対策を徹底し、集団施設での感染を防止するよう努めましょう。

みんなで予防に心がけよう！せきエチケット！！～病気をうつさない思いやり～

マスクをつけずに咳（せき）やくしゃみをする、そばにいる人がそのしぶきを吸い込んで感染する可能性があります。咳やくしゃみをするときは、人から離れ、口や鼻をティッシュやハンカチで押さえるようにして、ウイルス等が飛散しないように心がけましょう。

また、帰宅時、食事を準備する前や何か作業をするときに手洗いをこまめにするようにしましょう。